

取組方針

株式会社マルエーは、「お客様のためのお店」という、スーパーマーケットとしての使命は不変ですが、繊細な心と視点でお客様をお迎えたく、1店1店のサービスを深めることが肝心だと思えます。

また、地域におけるリサイクルステーションの役割も果たし、かつ産業排気物の減量化やリサイクル推進しております。また、店舗に於いて空き缶・ペットボトルの回収や牛乳パックの回収やトレー・容器の回収を行っています。

更に、当社の事業活動を進めて行く中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和・協調を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進致します。

令和3年7月26日（制定年月日）

株式会社マルエー

代表取締役社長 山本 一郎

## ■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

|        |  |
|--------|--|
| 目標一1   | 二酸化炭素の総排出量（または売上高当たりの排出量）を、令和2年を基準として令和4年までに 0.5302kg-CO <sub>2</sub> /百万円（2%）以下に削減する  |
| 具体的な取組 | （店舗での取組）<br><br>① 室温の管理を徹底する。<br><br>② エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する。<br><br>③ エアコンを使用しない期間は、電動ブレーカーを切る。<br><br>④ 営業時間外にショーケースカバーを設置する。<br><br>⑤ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する。<br><br>⑥ 作業効率の改善により残業時間を少なくする。<br><br>⑦ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する。<br><br>⑧ パソコンとコピー機の節電機能を活用する。 |

|        |  |
|--------|--|
| 目標一2   | 一般廃棄物の総排出量（または売上高当たりの排出量）を、令和2年を基準として令和4年までに 0.0394 トン（またはトン/百万円）以下に削減する   |
| 具体的な取組 | （店舗での取組）<br><br>① 廃棄物は、決められたごみ箱（可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、封筒、廃プラスチック）に分別して出す。<br><br>② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。<br><br>③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。（商品の仕入れ・販売に関する取組）<br><br>④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する。<br><br>⑤ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。 |

|        |  |
|--------|--|
| 目標ー3   | 水の総使用量（または売上高当たりの使用量）を、令和2年を基準として令和4年までに 8.514 ml/百万円以下に削減する   |
| 具体的な取組 | <p>（店舗での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 水はこまめに止めて活用致します。</li> <li>② 節水コマなどを活用にて水量抑制に努めます。</li> <li>③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する</li> <li>④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する</li> </ul> |

|        |  |
|--------|--|
| 目標ー4   | 社内の取組体制構築、および環境保全に関する地域社会へのリサイクル活動貢献事業の推進致します  |
| 具体的な取組 | <p>（店舗での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 牛乳パックの回収</li> <li>② トレー・容器の回収</li> <li>③ ペットボトル、空き缶の回収</li> </ul> |

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、店長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。